Creative Enzymes®

UDP-N-アセチルグルコサミンキナーゼ

Cat. No. EXWM-3007

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	毒素-抗毒素（TA）モジュールの毒性成分。UDP-N-アセチル-D-グルコサミンのリン酸化は、細胞壁合成の最初の確定的なステップであるEC 2.5.1.7、UDP-N-アセチルグルコサミン 1-カルボキシビニル転移酵素の阻害を引き起こし、その結果ブロックされます。この酵素の活性は、酵素が□□するε抗毒素に結合すると阻害されます。
別名	UNAGキナーゼ; ζトキシン; トキシンPezT; ATP:UDP-N-アセチル-D-グルコサミン 3'-ホスホトランスフェラーゼ

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
***EC*番号**	EC 2.7.1.176
反□	ATP + UDP-N-acetyl-α-D-glucosamine = ADP + UDP-N-acetyl-α-D-glucosamine 3'-リン酸
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間の保存には+4 ℃で保管してください。長期間の保存には-20 ℃~-80 ℃で保管してください。